



特集

障害者雇用の取組紹介

特例子会社を知る

株式会社ハートフルコープなら

県外の事例紹介 株式会社びわこビジネスサービス

はじめての障害者雇用 株式会社啓林堂書店

雇用の分野における合理的配慮の提供義務 Q&A
第32回国民文化祭・なら2017 / 第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

特別支援学校 奈良県立奈良養護学校

福祉事業所レストラン

はたらく障害者応援フェア / スウィーツ甲子園

インタビュー Interview | ハローワーク大和郡山
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク



奈良県 奈良労働局
(障害者施設で作成しました)

障害者就労支援機関

公共職業安定所

職業紹介等職業に関するあらゆる相談を行います。特に公共職業安定所には専門の職員が配置されていて、きめ細かな相談に応じています。

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保険、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 やまと建設第3ビル 302	TEL 0742-32-5512 FAX 0742-93-7712
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7176
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下湊 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

奈良障害者職業センター

障害のある人に対して、ハローワーク(公共職業安定所)と協力して、就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の準備訓練から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある人の状況に応じた継続的なサービスを提供します。

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高齢者等及び障害者の雇用に関する相談・援助、助成金の支給申請の受付、障害者雇用納付金制度に基づく申告・申請の受付、啓発等の業務を実施しています。

奈良支部	〒630-8122 奈良市三条本町 9-21 JR 奈良伝宝ビル 6階	TEL 0742-30-2245 FAX 0742-30-2246
------	--	--------------------------------------

発行元	奈良県健康福祉部障害福祉課 〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-27-8514 Fax 0742-22-1814	奈良労働局職業安定部職業対策課 〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地 奈良第3 地方合同庁舎 2階 TEL 0742-32-0209 Fax 0742-32-0225
-----	---	---

作成	社会福祉法人ふろぼの 〒630-8115 奈良市大宮町 3 丁目 5-39 第3 やまと建設ビル 201号 TEL/Fax 0742-81-7032
----	--

特集

特例子会社を知る

親会社が障害者の雇用に特別な配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たしているとの厚生労働大臣の認定を受けた会社のことを、特例子会社といいますが、特例子会社に雇用されている障害者を、親会社に雇用されているものとして実雇用率を算定できません(5ページ参照)。しかし、奈良県内では大企業が少ないこともあり、あまり知られていません。そこで、県内唯一の特例子会社を訪ね、会社設立前から現在までをお聞きしました。



ならコープ特例子会社
株式会社ハートフルコープなら

田原本町にある、ならコープ物流センター内に事務所が置かれ、現在は7人の障害者を含む9人で運営されています。コープ会員からカタログ注文された品物を県内全域に配達するための、農産物の検品・計量・袋詰め・ケース詰めなどを主な仕事としています。このような農産物の加工業務については、8割をグループ企業である株式会社CWSが行い、2割をハートフルコープならが行っています。

ならコープの障害者雇用率は、2011年の時点で1・8%と、法定雇用率(2013年からは2%に引き上げ)に達していましたが、ハートフルコープならは、純粋に、社会貢献のため設立されたものでした。これまでに高齢者介護福祉施設や、保育園も設立してきたならコープが障害者雇用を促進すれば、トータルな社会貢献ができるとの考えからでした。



ならコープ物流センター内にあるハートフルコープなら

株式会社ハートフルコープなら(以下「ハートフルコープなら」)は、ならコープが100%出資して2011年に設立されました。

はたらく

No.6 2016年9月発行

障害者雇用の取組紹介 Vol.5

特集 特例子会社を知る

ならコープ特例子会社 株式会社ハートフルコープなら
関西アーバン銀行特例子会社 株式会社びわこビジネスサービス

1

はじめての障害者雇用

株式会社啓林堂書店

6

雇用の分野における合理的配慮の提供義務Q&A

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

8

特別支援学校 Vol.3

奈良県立奈良養護学校

10

福祉事業所レストラン Vol.5 Cafe ぷらっと

はたらく障害者応援フェア
スイーツ甲子園奈良大会

12

インタビュー

Interview 第5回

ハローワーク大和郡山
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク

13



株式会社ハートフルコープなら



株式会社啓林堂書店



奈良県立奈良養護学校

「奈良県障害者雇用促進ジャーナル」は、県内の企業や経済・労働団体等の皆様に、障害者雇用施策や障害者雇用に関する制度、障害者雇用に関する先進事例などを紹介し、障害者雇用に関する様々な情報を共有していただくことができるよう、奈良県と奈良労働局が共同で発行します。

このジャーナルを通じて、障害のある人が一人でも多く就労し、働き続けるための一助となることを期待しています。

是非ともご一読いただきまして、奈良県における障害者雇用の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真の紹介：株式会社ハートフルコープなら 事業部長の竹村彰さんと一緒に働くみなさん

特例子会社の設立が決まって

現在、運営を取り仕切る事業部長の竹村彰さんにとって、それは突然の辞令から始まりました。それまで、ならコープ店舗の店長を務めていた竹村さんは、ある日、ハートフルコープならの事業部長を「ぜひに」と託されたのです。もちろん、特例子会社の設立趣旨に理解はあったものの、これまでに障害のある人との直接の接点はまったくなく、障害者雇用に関する制度等についても知りませんでした。しかも、開業は3か月後に迫っているというタイミング。「押し切られて」竹村さん。



事業部長の竹村彰さん

引き受けた以上は、とにかくにもやるしかない、という状況のなかで、竹村さんはまず、広島などつてのある他県の特例子会社へ出向き、4〜6月の3か月間に3回、1週間から2週間の泊まり込みで研修を受けました。そこで学んだことは、障害のある人のかかわりかた、就業規則の作りかた、保護者とのつながりの大切さ、余暇や仕事以外のことで

コミュニケーションの大切さなどです。すでにグループ内で障害者雇用を行っている株式会社CWSからも、細かな手順やノウハウを教わりました。

研修活動が続けたら、4月中旬ごろに募集を始め、5月初旬には経験豊富な研修先の方に手伝ってもらいながら面接を行いました。5名の募集に対して、46人(18歳〜46歳)の人たちからの応募がありました。41人を不採用にしたことが、今でも竹村さんの胸の中には残っていると言います。

そしていよいよ、7月11日、農産物の加工から業務がスタート。就業時間は、朝8時30分から15時15分まで。休みは金曜日と土曜日です。やってみて意外だったことがありました。研修先の方と相談のうえ、1日の加工点数を400点で始めてみると、なんと11時30分まで終了してしまいました。終業時間まで、まだたっぷり時間があるのです。竹村さんの予想を上回る仕事ぶりに「えらいこっちゃ」と、翌日からは限界に近い数を目指し、1800点の加工をやり遂げました。今でも常に105%の力を発揮することを目指しています。「人から聞いたことを信用し、採用した人のことを信じていなかったんですね」と竹村さんは振り返ります。

そんな竹村さんに、設立当時のことや現在の様子についてうかがいました。

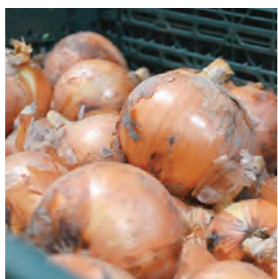
えました。仕事は、2週間あれば、みんな覚ええます。いったん覚えたら、仕事、休憩、ごはん、また仕事、と自主的です。日によって変則的な事態が発生することがあり、それはしっかりと説明しておかないと大変ですけど、日常の仕事が確実にできること、チェックさえちゃんとしておけば大丈夫。

忙しいとき、こちらの目の色、緊張感などは伝わりやすいですね。そんなカンのする子どももいますよ。

職場定着についてもうかがってみました。



《農産物の加工》



通常9品目14000個をこなす。仕事量には波があるため、品目数を増減するなどして、できるだけ均一になるようにしている。



作業を見守る竹村さん(上)。「今日の計画」にもとづいて、野菜を計量し袋につめる(左)。

「最初に採用した5人は続いています。2年くらいで辞めた人もいて、もつと条件のいいところを求めて辞めることもあります。定着について心がけているところは、障害者と意識しすぎず、同じ働く同僚として、誰かが体調が良くない時はカバーし合おうという態度。何かあつてはいけなからと、逐一見せておきます。ケガするときは誰だつてケガしますし。」

また、一歩踏み込んで、『障害があることで、どういことが苦手なのか』を本人とも保護者とも話すこと。案外、本人が気付いていないことが多いです。苦手なことを認めて、病院、就業・生活支援



《蓄冷材の洗浄》

聞いてまわって確かめた

一人でスタートダッシュした竹村さんの場合、関係機関の連携についても、はじめは「わけがわからなかった」そうです。積極的に実習の受け入れをしようとしても、実際には応募がなかった、ということもありました。「身近に相談する人がいなかったし、連携の意味もよくわからず、ちんぷんかんぷんでした。業務が始まりしばらくすると、いろいろと訪ねてくる人もありました。就業・生活支援センターの人が来られても「この人は本当に信用できる人なのか」と不安。『シウポツ? このポツってなに?』というくらい(笑)。わからないことがあると、同じ内容を、ハローワークや県など複数のごとくに話して、確かめたりしていました。作業量の見通しもたまたず、

8時30分	ランジ検査
8時35分	靴・身だしなみチェック
8時45分	作業開始
11時45分	昼休み
12時15分	身だしなみチェック
	作業開始
15時	作業終了・かたづけ
15時05分	そうじ・あしたのじゅんび
15時10分	しゅうり
15時15分	おつかえさまでした

一日のスケジュール

センターなどいろいろな支援機関があるのですから、こんなときはどこに相談にいったらいいか、どんなふうに助けてもらったらいいか、ということをお話しておいてあげるのも大切なことだと思っています。いただいたお給料で自分の苦手なところを補うのも方法の一つだ、と言っています。

ならコープ全体としてのビジョン

今年5月、ならコープとしてA型事業所(※)が始まりました。竹村さんは、それにも関わっているそうです。「これからは、A型のハートフルコープよしの、特例子会社のハートフルコープなら、そして株式会社CWSというようにステップアップできる体制になっていけたらいいと思いますし、そのためには、まだまだ、ここをしっかりさせていかなくてはと思っています。」

ならコープ本体のほうで、理事長・副理事長・専務などはじめ、障害者雇用にとっても関心が高いのは助かっています。



要冷蔵の宅配用のボックスに、同梱される蓄冷材を機械にかけて洗浄する。洗ったらケースに並べて所定の場所へ。1人1日6000枚が目標。

朝早く来てあれこれ思案してみたり」当時の竹村さんのさまざまな奮闘ぶりがうかがえました。

障害のある人たちの働きぶり

ここでは、17時からは、宅配発送のための作業が始まるため、それまでに予定の作業を完了しておかなければならず、時間との勝負の面があります。

「残業は居残りであつて、『あかんこと』という意識があるのか、時間内にきつちり終わるんだという意識は高いですよ。昼間にほどよく疲れるので、夜もぐっすり眠れるようになったという保護者からの声も聞きます。設立時は1日6時間の勤務時間でしたが、採用から5年たった人は7時間勤務とし、給料も増

ゆくすえも視野に

※「株ハートフルコープよしの」(就労継続支援A型事業所を昨年4月に設立。宅配用の原水精製および配送事業・販売、農産物の栽培・集荷・選別・出荷・販売作業を担う)。

また、絵が描けるなど、障害のある人の仕事以外の得意分野についても発見・応援できるようになれたらとのことでした。最後に、これからの課題については、障害のある人の将来のことが挙がりました。

「保護者の方が最終的にいなくなったとき、誰を頼っていくのかということも、考えていかないといけないと感じています。本人が50歳近くになる人もいます。その方の保護者というと、ご高齢ですね。ここは課題だなと感じています。」

障害のある人たちに対する思いは、さながら福祉職員のような空気を感ぜられる竹村さんでした。

株式会社ハートフルコープなら

〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古395-1
ならコープ物流センター内
TEL 0744-34-1750

親事業主=市民生活協同組合ならコープ
会社設立=2011年7月6日
業務稼働=2011年7月11日
特例子会社認定=2011年12月27日
社員=9名(内障害者7名)
主な事業内容=農産物の選別、計量、発送に関する業務、各種備品の洗浄業務など

県外の事例紹介

関西アーバン銀行 特例子会社
株式会社
びわこビジネスサービス



社会貢献とBPR

ビジネスプロセスエンジニアリング



子会社から特例子会社へ

株式会社びわこビジネスサービスは、関西アーバン銀行の関連会社であり、平成27年に関西に本店を置く銀行では初となる特例子会社の認定を受けました。

設立は昭和52年。当時の滋賀相互銀行（平成元年びわこ銀行に商号変更）の子会社として設立され、平成22年にびわこ銀行が関西アーバン銀行と合併したことにより、現在は、関西アーバン銀行の子会社となっています。設立当時から印刷業務や計算受託業務を行っていましたが、3年ほど前からは、特例子会社の認定をうけるべく、業務範囲を広げ、障害者雇用の拡大を行い、施設の整備をしました。膳所営業所は、稼働していなかった関西アーバン銀行旧膳所出張所の店舗を改装したものです。

同社の全従業員数は43名、このうち障害者は身体障害者8名、精神障害者5名の13名です。このうち、6人は聴覚障害があり、そのうち4人は重度の難聴の方です。

特例子会社設立のいきさつ

親会社である関西アーバン銀行の障害者雇用率は、平成25年、平成26年といずれも1.7%台で、わずかに法定雇用率を下回る状況にあり、人事部門を中心に問題意識が高まっていました。この法定雇用率をクリアしたいというのが、特例子会社設立の出発点となりました。

もともと印刷業務を行う同社では、障害のある方が活躍されていたという下地がありました。そこで、グループ全体で障害者を安定的に雇用するには、同社を核とすることが最善と判断されたのでした。これにあわせて、業務用頒布品（いわゆる粗品）の加工を取り扱うことも始めました。

障害者雇用には、法定雇用率のクリアだけでなく、銀行業務のBPR（※）を促進するという目的もありました。銀行業務、特に本店各部の業務は、預金や融資、投資信託など運用商品の販売等、取

常に相互理解が深まるよう会話しています。最近入社された方からは、「当社で働くようになって元気になった。家族もたいへん喜んでくれている」との声もあり、ストレスの生じない職場環境づくりの重要性を痛感しているところで。

特例子会社設立に伴うメリット

障害者差別解消法の施行もあり、銀行全体としても障害者雇用の関心が高まってきている中、機を同じくしてこうした取り組みを進めていることは、非常に意義深いと考えています。行員一人ひとりにとっても、その深度に差はあるものの理解は深まっており、特に今回新たに連携することになった部署については、本来の目的であるBPR（※）により業務の効率化が進み、その効果を実感しているケースもあります。

当然、当社で障害者の方と直接に接する機会が生まれた職員は、手話を新たに学びに行くなど、地域社会での活動の幅が広がってきています。

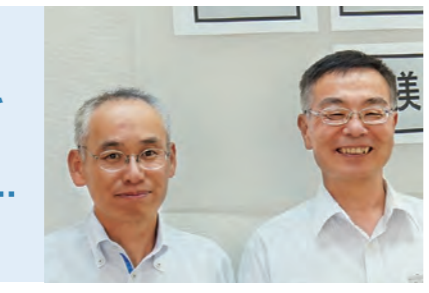
障害者雇いで課題と感じていること

やはり「一人ひとりの特性理解」に時間がかかるということでしょうか。外見や話すことで障害の状況が分かる身体障害者の方ばかりでなく、自らの思いをほとんど口にされない方もおられます。ただ、これは組織内のコミュニケーションをよくすることで解決するしかないと考えています。

外部機関との連携

就労支援事業者には、新たな職員の採用でたいへんお世話になっております。また、採用後も継続的かつ定期的にフォローいただいております。障害者本人にとっても心強い存在だと思えます。

採用に当たって、まだまだ経験が浅い我々は、ハローワークに気軽に相談させていただきます。助成金制度も、企業にとっては極めて大きなメリットだと思えます。



障害者雇用のポイントをお聞きしました。

(左)菅江 克弘 社長、(右)鈴木 弘市 総務部長

就労体系

勤務時間は9時から17時の方が7名、銀行の始業時間に合わせた8時40分から17時の方が3名、時短を希望されている主婦の方が9時30分から16時30分、清掃業務に従事する2名は8時から15時になっています。全員が週30時間以上の勤務であり、社会保険にも加入しています。

仕事は、印刷業務では名刺や封筒、伝票、各種パンフレットの作成です。印刷機・製版機・裁断機・製本機など様々な機械の取り扱いに精通している方や、デザインの得意な方もおられ、チームで各種注文に対処しています。

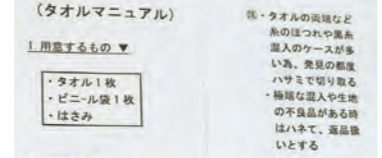
頒布品の加工・管理は、銀行名のシールを貼ったり、タオル等を折りたたみ袋詰めする作業です。郵便物の宛名貼りや書類の封入作業、顧客や営業店宛に書類を送る作業も担当範囲です。

特に、情報管理の観点からどうしても書類を膳所営業所に移動させることが難しいものは、銀行本店のある心斎橋や事務センターのある南港まで出向き、各種銀行業務の補助（具体的にはデータ入力、書類の整理や整備など）を行い、BPRに資する取り組みにつなげています。

雇用した障害者の業務の確保方法

ある部署に障害者を配置しようとする、現場社員の不安感が大きく、雇用推進がなかなか進みません。そのため、当初、障害者だけの新しい部署（頒布品の加工）を作り、それを核として業務範囲を拡大しました。銀行の各部署に対し、経験がほとんどなくても代替可能な業務を洗い出すよう依頼し、当社の専任管理者が具体的にヒア

リングを行いました。ここでも、各部署の長や現場の方の理解が必要なることを痛感しました。「助かるわ」という声が我々のやりがいですし、組織の活性化につながっていると自負しています。



頒布品加工マニュアル

親会社からの支援

もともと銀行トップの理解があつて特例子会社としての活動が具体化しました。「親会社（銀行）の全面的なサポート」が一番の強みです。年2回の部長会議でトップより営業施策の方針等が示達される際に、当社が特例子会社の認定を受けた経緯を説明のうえ、全行的に業務に協力することを訓示いただきました。このことで、銀行全体に障害者雇用の重要性の理解が生まれ、地域金融機関として一つのあるべき姿が徹底できたと感じています。

職場定着支援の方法

一人ひとりの特性・適性の理解が第一です。まだまだ現在進行中であり、日々ブラインドチェックをすることが重要です。そのため、毎日の日誌と、一緒に業務をする中でのコミュニケーションを大切にしています。

日誌は、健康状態や日常生活についての記入欄も設け、きめ細かなサポートができるよう工夫しています。また、こじんまりした組織ですので、ランチタイムを活用し、



清掃業務

営業所内で頒布品の加工や印刷業務

り扱い商品別に組織化されていますが、そこに横串を入れ、横断的に業務内容を洗い出し、各部門が連携することでグループ全体の業務効率化につなげようとするものでした。

トップの理解を得て認定へ

会社そのものは、もとより設置されており、少人数ながら障害者雇用も行って来たため、新たに設立するのに比べて物理的な負担は少ないものでした。

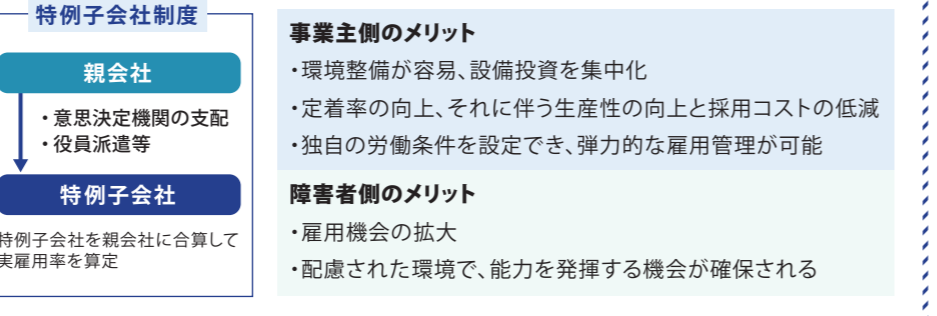
特例子会社化するにあたっては、経営者による障害者雇用への理解がありました。銀行グループ内の存在価値向上の意味から働きかけをし、人事部門を中心に理解を得て、アイデア段階での準備は平成25年度ごろから進めていきました。平成26年12月に、膳所営業所を設置して業務用頒布品の加工を始めるかわら、ハローワークへの具体的な相談を開始しました。そこからは、トップの理解もあつたことから体制整備が一気に進み、平成27年3月に申請書を提出、同5月に認定されました。

今、特例子会社となって一年が過ぎました。「障害者が輝く組織」を目指す取り組みは始まったばかりです。

※BPRとは、Business Process Re-engineeringの略。既存の業務の構造を抜本的に見直し、業務の流れを最適化する観点から再構築すること

特例子会社とは

障害者の雇用の促進及び安定を図るため、事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした、一定の要件を満たす子会社のことです。特例子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定することができます。（関係する子会社も含めたグループ全体を合算できるグループ適用もあります）





はじめの頃は、ファイルに伝票を綴るのが難しかったが、今では「慣れました」と石原さん。難なく、パチン。



職場では愛用のマウスを使っている



取引先とやりとりされる本が詰まった箱。この記録をデータ入力するのも石原さんの仕事。



石原さんに聞きました。

手が不自由なので、少しでもリハビリになったらいいなと思って、小学生時代からパソコンを触っていました。高校生のころ、IT教育を取り入れている放課後等デイサービス事業所のことを知り、ぜひ行ってみたいと思い、通うようになりました。啓林堂で実習して、エクセルを覚えたいと思ったとき、教えてもらったのはとても助かりました。仕事は楽しいです。啓林堂は駅から近く、自宅から一人で通勤しやすいのがあります。プライベートでは、カメラで電車を撮ったりするのが好きです。



十代の石原さんが就職されてから、職場

今では自然に仕事ができます

夏休みの実習期間を終えても、放課後を使って十二月まで、短時間であっても啓林堂へ出向き、実習を重ねました。啓林堂は、石原さんを受け入れるにあたり何か特別に大きく構えずとも、入力業務職として仕事をしても構えずという目処がたつにつれ、実習から雇用へと進んでいきました。

かつ放課後等デイサービスとして利用したIT教育を取り入れている事業所でも指導を受けていました。そのため、パソコンの基本操作を理解し、ワードを使うことができました。そこで、体力が必要な業務ではなく、事務所内でのリスト作成などを実習してみるようになりました。すると、そのスキルのレベルに、林田さんは「わたしなんかより、上手かも」と驚きました。

石原さんが実習に

再び、奈良県から実習の話がきて、紹介されたのが石原さんでした。石原さんは、当時の面接で「障害者」として面接を受けたことがありませんでした。窓口を担当した林田さんは、「売り場」という本人の希望もあり、奈良市の店舗で接客の仕事の数日間、実習してもらいました。そのときは、「お客様からいろいろな質問があったりしたら、どうするのだろう」となどの心配があったことは否めませんでした。が、「スタッフには中高年の方も多く、高校生の方にとってはお母さん世代にあたります。意外にもすんなりと受け入れられ、それとなく気配りしてくれました」と振り返ります。

接点は実習生の受け入れ

石原さんは、まだあどけなさの残るかわいらしい顔立ちの若者です。先天的に身体に障害があり、上半身が細く、肩幅も小さい印象です。啓林堂が初めて障害者と接点を持ったのは、奈良県障害福祉課からのすすめで、軽度の知的障害のある人の実習を受け入れたことでした。窓口を担当した林田さんは、「売り場」という本人の希望もあり、奈良市の店舗で接客の仕事の数日間、実習してもらいました。そのときは、「お客様からいろいろな質問があったりしたら、どうするのだろう」となどの心配があったことは否めませんでした。が、「スタッフには中高年の方も多く、高校生の方にとってはお母さん世代にあたります。意外にもすんなりと受け入れられ、それとなく気配りしてくれました」と振り返ります。

就職した人 石原 大さん

奈良県立奈良養護学校卒 19歳(障害種別身体) 主な業務 エクセルを使った入力業務

雇用した事業所 株式会社 啓林堂書店



奈良県障害者雇用促進ジャーナル No.6



株式会社 啓林堂書店 (郡山店)
大和郡山市南郡山町 527 TEL 0743-53-8001
http://www.books-keirindo.co.jp
昭和49年の創業以来、地域に親しまれ続けてきた書店。他に、新大宮店、奈良店、学園前店、生駒店がある。従業員数 100名。

このケースでは、奈良県、奈良養護学校の進路部、放課後等デイサービス事業所、そしてご本人の意思と努力などが調和して「はじめての障害者雇用」が実現しています。関係機関の連携が欠かせないこと、制度は人の信頼関係があってこそ生きるものであることを、あらためて感じさせられました。

障害とスキルの理解から本人に合う業務を

石原さんは、学校でのパソコン学習以外にも、小学生の頃からパソコンに親しみ、なおかつ放課後等デイサービスとして利用したIT教育を取り入れている事業所でも指導を受けていました。そのため、パソコンの基本操作を理解し、ワードを使うことができました。そこで、体力が必要な業務ではなく、事務所内でのリスト作成などを実習してみるようになりました。すると、そのスキルのレベルに、林田さんは「わたしなんかより、上手かも」と驚きました。

奈良養護学校の3年生。就職を希望しており、それに繋がる可能性のある実習先を求めています。そこで石原さんは、夏休みを利用して啓林堂での実習にチャレンジしたいと考えました。しかし、林田さんは、最初は「売りの仕事は無理ではないか」と思ったそうです。書店の仕事には、本を運んだり整理をしたりする業務があり、手に不自由のある石原さんには、重いものを持つことが難しいと考えたためでした。そこで、奈良養護学校の進路支援部部長、原映子さんは、「彼はパソコンの操作ができます。事務所で仕事はどうでしょう」と、石原さんに合った仕事の振り分け方ができないか林田さんに相談しました。ちょうど、職場でもそんな人材を必要としていたところだったので、面接してみることに。すると、石原さんの素直な人柄に触れて、こんな人に来てもらえるなら...と思ったそうです。

雇用の分野における 合理的配慮の提供義務 Q & A

合理的配慮の提供義務とは

- ・募集及び採用時においては、障害者と障害者でない人との均等な機会を確保するための措置
- ・採用後においては、障害者と障害者でない人の均等な待遇の確保または障害者の能力の有効な発揮の支障となつている事情を改善するための措置のことをいいます。

合理的配慮は、障害者一人ひとりの状態や職場の状況などに応じて求められるものが異なり、多様で個性が高いものです。したがって、具体的にどのような措置をとるかにについては、障害者と事業主とでよく話し合った上で決めていただく必要があります。合理的配慮は個々の事情がある障害者と事業主との相互理解の中で提供されるべきものです。

募集・採用時の合理的配慮の例

- 視覚障害がある方に対し、点字や音声などで採用試験を行うこと
- 聴覚・言語障害がある方に対し、筆談などで面接を行うこと

採用後の合理的配慮の例

- 肢体不自由がある方に対し、机の高さを調節することなど作業を可能にする工夫を行うこと
- 知的障害がある方に対し、図などを活用した業務マニュアルを作成したり、業務指示は内容を明確にしてひとつずつ行なったりするなど作業手順をわかりやすく示すこと
- 精神障害がある方などに対し、出退勤時刻・休暇・休憩に関し、通院・体調に配慮すること



Q

障害者のみを対象とした求人（いわゆる障害者専用求人）は差別にはなりませんか？

A なりません。障害者のみを対象とする求人（いわゆる障害者専用求人）は、障害者を有利に取り扱うものであり、禁止される差別に該当しません。なお、障害者専用求人採用した障害者についても、採用後に障害者でない者との間で不当な差別的取扱いをすることは禁止されます。

Q

募集及び採用時に気を付けるべきことは何ですか？

A 合理的配慮に係る措置の内容によっては、準備に一定の時間がかかる場合があります。障害者は、面接日等において合理的配慮の提供を受けることを希望する場合、面接日等までの間に十分な時間的余裕をもって事業主に申し出ることが求められます。

また、事業主においても、労働者の募集をするに当たって、求職者が十分に時間をかけて応募の検討ができるよう、年度ごとの定期的

Q

障害者が希望する合理的配慮に係る措置が過重な負担であるときは、合理的配慮に係る措置を講ずる必要はありませんか？

A な募集など緊急に人員を確保するケースでない場合は、可能な限り十分な募集期間を設けることが望まれます。

A

障害者が希望する措置が過重な負担に該当する場合は、希望通りの措置を講ずる義務はありません。ただし、その場合であっても、障害者と話し合い、その意向を十分に尊重した上で、過重な負担にならない範囲で、合理的配慮に係る何らかの措置を講ずる必要があります。

Q

事業主が、ある労働者について、入社前は障害者であることを知らず、入社後に障害者であることを知った場合にも、合理的配慮を提供する必要がありますか？

A 合理的配慮を提供していただく必要があります。労働者が障害者であることを雇入れ時までに把握できなかった場合には、障害者であることを把握した時点で、事業主はその方に対し、職場において支障となつている事情の有無をご確認いただき、話し合いをした上で合理的配慮を提供していただきます。

合理的配慮のための具体的な手順

- 1 支障となつている事情の申出・確認
 - 募集・採用時：障害者から事業主に対し、支障となつている事情などを申し出てくださいます。
 - 採用後：事業主から障害者に対し、職場で支障となつている事情の有無を確認してください。
 - 2 合理的配慮に関する話し合い
 - 合理的配慮に関する措置について、事業主と障害者で話し合ってください。
 - 3 合理的配慮の確定
 - 合理的配慮に関する措置を確定し、とることとした措置の内容と理由（過重な負担に当たる場合は、その旨とその理由）を障害者に説明してください。
 - 採用後において、措置をとるまでに一定の時間がかかる場合はその旨を障害者に説明してください。
- ※障害者の意向を確認することが困難な場合、就労支援機関の職員などに障害者の補助を求めても差し支えありません。

過重な負担

- 合理的配慮は「過重な負担」にならない範囲で事業主に講じていただくものであり、合理的配慮の提供義務については、事業主に対して「過重な負担」を及ぼすこととなる場合は除くこととしています。
- 過重な負担は、以下の6つの要素を総合的に勘案し、個別に判断します。
- ① 事業活動への影響の程度
 - ② 実現困難度
 - ③ 費用負担の程度
 - ④ 企業の規模
 - ⑤ 企業の財務状況
 - ⑥ 公的支援の有無

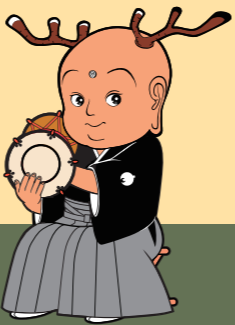


国内最大級の文化の祭典が奈良に！
第32回 国民文化祭・なら2017
第17回 全国障害者芸術・文化祭なら大会
2017.9.1 ▶ 11.30

奈良県では、平成29年9月から11月に「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を全国で初めて一体開催します。会期中は、障害のある人もない人も楽しめる触って体験できるアート展や躍動感あふれるワークショップなど、さまざまな芸術・文化イベントが県内各地で開催されます。日本文化の始まりの地・奈良で文化の力で盛り上げます！

お問い合わせ ☎ 0742-27-8488

第32回国民文化祭奈良県実行委員会事務局 第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局
 (国民文化祭・障害者芸術文化祭課内)



©NARA pref.

奈良県立奈良養護学校



就労を希望する生徒は きめ細かな支援で夢の後推しを

奈良県立奈良養護学校は、大和郡山
市との境界に近い奈良市七条町にあり、
昭和55年に開校、翌年に現在の場所に
校舎が竣工しました。小学部から高等
部までの肢体不自由の児童生徒、知的
障害、病弱虚弱の障害が重複する児童
生徒のための学校です。全館平屋建ての
校舎の前には、車やスクールの乗りの
入れができる十分なスペースがあるの
が、この学校の特色を表しています。
平成28年度の全校児童生徒数は、小
学部51人、中学部19人、高等部34人の
104人。校区は、東から山辺郡、奈良
市、天理市、大和郡山市、生駒郡、生駒
市、北葛城郡一部と、奈良県北部一帯に
わたります。



中野善久校長と進路支援部長の原映子先生

やかなケアが学校生活の中で重要
です。看護師免許を持つ職員も複数
が取られています。
高等部を卒業した生徒のほとんどが
家庭で生活を続け、生活介護事業所等へ
通っています。大学等の進学や就職を希
望する生徒は毎年0〜2人とわずかで
すが、生徒と先生がマンツーマンに近い
結びつきがあるなかで、本人の希望に合
わせて、必要な指導や、実習が行われ
ています。
進路支援部長の原映子先生は、「本校
では、医療的ケアが必要な子どもたちも

多く、また、生徒の実態により、毎年、通
うことができる範囲などの条件が異な
ります。就労を希望する生徒の場合、1
年生の時に県庁で事務を体験し、2年生
で体験実習、3年生では、就職を意識し
た職場実習を行います。
肢体不自由の場合、実際のところ求人
は無いです。よく、実習先もなかなか
ありません。そんな中で、県からの紹介
や就労移行支援なども生かしながら、
昨年、一昨年と就職が決まりました」と
話しています。



段差がなく、広い廊下



就職を目指して

けんとう
間遠 直生くん

(高等部3年生・肢体不自由教育部門)

間遠くんは、中学までは地
元の公立学校に通学してしまし
たが、進学先は設備の整った奈
良養護学校のほうが良いと考え
ました。
朝のホームルームが終わる
と、別の教室に移動し、授業
を受けます。得意な教科は国
語、苦手な教科は数学。「苦手
ということはあっても、嫌いな
教科はありません」と勉強に
意欲的です。
一般就労を目指して、自主的
にパソコンでの文字入力練習
をしています。また、4月から
一人で、自宅から1時間半をか
けて電車とバスを乗り継ぎ登



校するようになりました。「最
初は親や先生に見守ってもらい
ながら、だんだんと一人ででき
るようになり、今やっと最寄り
駅から車椅子で自力登校でき
るようになりました。バスや
電車が車椅子に対応しているか
を事前に電話して確かめたり、
駅のホームで駅員さんに手助け
をお願いしています。今では顔
なじみになり、引込み思案を
克服するトレーニングにもなり
ました。
2年生の時、希望の職種で
ある病院で実習を行い、今年6
月には、同じ病院で電話対応
や受付を実習しました。
原先生は「先方の想定され
たところは達成できたので他
の事務職の仕事の様子を見たい
ということ、夏休みの実習を
受けていただけることになりま
した。電話は大の苦手だったの
ですが、実習までに校内の電話
を使って練習しました」と話
しています。

3年生になってチャレン
ジを始めた単独での車椅子
登校。駅から20分かけ
て車椅子をこぎます。夏
は、汗だくなるので、教
室に着くと、まず着替えて
す。



ホームルーム
入り口に飾られた
卒業生からの贈り物。

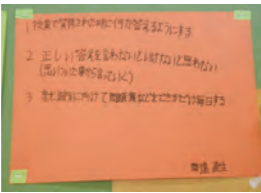
車椅子は、教室の隅に置き、
授業のため、歩行器で移動
します。



歩行器から椅子
に移るのは自力
でOK。インター
ネットで調べも
のをすることも。



緊張感があって集中しやすいです。



将来は、「幼い頃から病院に
かかることが多く、その度にい
ろいろな支援をしていただいで、
どんな仕事もそうかもし
れないけれど、人の役にたてる
仕事がしたいです」と希望して
います。
そして、「働くことができて、
初めてのお給料がもらえたら、
親にお返ししたいです」と語
りました。



校内には同校の卒業生で現在書家として活躍中の
方の校訓の書が飾られています。



放課後のスクールバス昇降口には、学内で児童生
徒たちが乗っている車椅子がズラリ。

奈良県立奈良養護学校

〒630-8051
奈良市七条町135番地
TEL 0742-34-2671
FAX 0742-33-9459

<http://www4.kcn.ne.jp/~narayogo/>

ハローワーク大和郡山



所長 玉置達夫氏（中央）、求人・専門相談部門 統括 職業指導官 藤原基光氏（右）、上席職業指導官 新川文仁氏（左）

障害者雇用に関しては、平成28年3月での登録者数は1357人、有効求職者数は93人。平成27年度の就職件数は、84件でした。身体障害者数が毎年一定数であるのに対して、精神障

障害者雇用に関しては、平成28年3月での登録者数は1357人、有効求職者数は93人。平成27年度の就職件数は、84件でした。身体障害者数が毎年一定数であるのに対して、精神障

郡山城の城下町として近世の趣が町中に残る、大和郡山市。ハローワーク大和郡山の建物も、同市の景観への配慮から、一見すると和風レストランのような趣があります。ここは、大和郡山市、生駒郡安堵町、斑鳩町、三郷町、平群町を管轄区域としており、大阪府と隣接したベッドタウンであり、奈良県の人口のうち12%を占めるエリアです。また、管内には昭和工業団地、安堵工業団地があり、近代的産業も盛んです。ハローワーク全体の求人産業別

害者は増加傾向にあるのが近年の特徴です。この傾向は全国や奈良県全体をみても現れています。昨年度従業員数50名以上の事業所は管内に72社ありますが、就職先は、交通の利便性から、県内だけでなく大阪方面へ紹介することもあります。就労の定着のためには、「職場の一員として働く覚悟・意識はありますか」という確認をするようにしているとのこと。



相談窓口のようす



ハローワークとしては珍しい和風の外観

なら西和障害者就業・生活支援センター ライク



センター長 出口裕生氏

近鉄郡山駅前の柳町商店街の中に

センター長 出口裕生氏

近鉄郡山駅前の柳町商店街の中にあるのが、なら西和障害者就業・生活支援センター ライク。2年前、三郷町からこの場所に移転してきました。平成27年度の登録者数は353人、就職件数は39人で、精神障害・知的障害の方が多くを占めています。センター長の出口裕生さんにお話をうかがいました。

奈良県では、昔から特別支援学校の先生たちがいるところを廻ってつながらるを築かれています。制度にのらない週20時間以下の雇用もあります。収入目的だけでなく、働くことで「社会に参加している」という自信を回復される方もいるので、いろんな働き方が今後でてるかなと思います。



運営法人を同じくする「カフレ스토랑 彩食キッチンBon」の角を曲がってすぐのところに目印

福祉事業所 レストラン

障害のある人たちが働いている福祉事業所が運営しているレストランを紹介します

Cafe ぷらっと



「年齢や障害の有無にかかわらず、のんびりと、だれもがくつろげる場所」を目指し、平成25年10月上牧町内の別の場所から現在の「上牧町保健福祉センター1（2000年會館）」内に移転しました。

Cafe ぷらっと (社会福祉法人 上牧町社会福祉協議会)

住所：北葛城郡上牧町上牧3245-1 上牧町保健福祉センター内
営業日：月～金（定休日：土・日・祝）
営業時間：9:00～16:00
電話：0745-76-6098（内線133）
アクセス：
西名阪自動車道香芝ICより車で10分
2000年會館駐車場利用可
王寺駅より奈良交通バス乗車、「上牧町文化センター前」下車
巡回バス「ささゆり号」「ペガサス号」乗車、「2000年會館」下車



日替わりランチ (5食限定)	600円
パスタ・カレー・ピラフ	各400円
アップルパイ	300円
コーヒー・紅茶・ジュース	各200円～
ケーキ	200円
アイスクリーム	200円
※価格は消費税込	



はたらく障害者 応援フェア

障害のある人が心を込めて
キチンとした商品の販売会です



おいしいもの、かわいいもの、おしゃなものが盛りだくさん！

9.10 土 11 日
イオンモール高の原

10.22 土 23 日
道の駅 吉野路大淀iセンター

11.26 土 27 日
イオンモール大和郡山

1.14 土 15 日
エコール・マミ

当日、販売会場において、はたらく障害者応援プレミアム商品券を販売します。ぜひ、お越してください！！



このコンテストは、障害のある人が働く施設・事業所が手づくりのお菓子のアイデアや味を競うコンテストです。奈良大会でグランプリを受賞したスイーツは、関西大会に出場します！



前回グランプリ
「花橘の薫」

前回準グランプリ
「米粉大和のお野菜クッキー」

10/15 土 イオンモール 大和郡山

あなたがスイーツの審査員。
エントリー商品を試食して、投票しよう！

